

Newsletter: 日本音韻論学会 (PhSJ)

第 22 巻第 3 号 (通巻 65 号)

2018 年 12 月 23 日

音韻論フォーラム 2018 報告

去る 8 月 27 日(月)~29 日(水)名古屋大学・本山キャンパスにて、音韻論フォーラム 2018 が開催されました。海外研究者 4 名 (Hyesun Cho 氏、Christian Uffmann 氏、Eunhae Oh 氏、Tobias Scheer 氏) による招待講演が行われました。また、博士号取得者講演 2 件 (瀧口いずみ氏、劉莎氏)、一般研究発表 9 件も行われました。

3 日間を通して合計で 60 名の参加者があり、質疑応答も活発に行われました。2 日目夜に開かれた懇親会には 43 名の参加者があり、こちらでもゲストを交えての活発な交流がなされました。

会場をご提供下さり、大会運営およびゲストの歓待にご尽力いただいた玉岡賀津雄先生 (名古屋大学) に改めて感謝申し上げます。また、期間中に運営の手伝いをして下さいましたスタッフの皆様にもお礼申し上げます。

2019 年度春期研究発表会

2019 年度の春期研究発表会を 2019 年 6 月 21 日(金)に、首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス (東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 12 階) にて開催予定です。同日には会員総会も行われます。奮ってご参加下さい。プログラム等の詳細は 4 月末に発行予定のニューズレターでお知らせいたします。なお、6 月 22 日-23 日には日本語学会が一橋大学にて開催される予定です。

2019 年度春期研究発表会発表募集

上記の 2019 年度春期研究発表会での研究発表を、下記の要領で募集します。ぜひ皆様の日頃の研究成果のご発表にご活用ください。

本研究発表会での発表内容は、一般発表、ワークショップともに編集委員会による査読を経て、『音韻研究』第 23 号 (2020 年 3 月、開拓社から刊行予定) に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、原則として 8 ページです。

<応募要領>

発表テーマ：音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語：日本語または英語。

発表形態：一般発表またはワークショップ

送付方法：いずれの発表形態の場合も (1) 要旨、(2) 発表者情報を別のシートに記載し、下記の担当理事宛に送信すること。

応募資格：会員のみ応募可能。ただし共同発表の場合は筆頭発表者が会員であればよい。

応募件数：同一発表者による応募は 2 件以内とし、このうち筆頭発表者としては 1 件とする。

I. 一般発表の場合

- (1) 「要旨」にはタイトルと発表要旨のみを記入する (氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合 2000 字以内、英語の場合 800 語以内とする。別紙に参照文献一覧を 1 枚以内で示す。
- (2) 「発表者情報」には、氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載する。

II. ワークショップの場合

- (1) 「要旨」はワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し代表者に取りまとめ、一括して送付する。各要旨にはタイトルと発表要旨のみ記入する (氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は 2000 字以内、英語の場合は 800 語以内とする。要旨各々につき参照文献一覧を 1 枚以内で示す。
- (2) 「発表者情報」には発表者全員の氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載する。代表者に印をつける。

メールで PDF ファイルを担当理事に送付する。PDF ファイルの作成が不可能な場合は、その旨を事前に連絡した上で、Word ファイルにて送付する。

書式：A4 サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り：2019 年 3 月 31 日 (日)

送付先：時崎久夫 (春期研究発表会担当理事)

toki@sapporo-u.ac.jp

(メールでの送信が不可能な場合は以下に送付)

〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1

札幌大学 時崎久夫

【春期研究発表会書類送付】と朱書きすること。

書式を守っていない、あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので、ご注意下さい。4 月中旬に発表の可否を通知予定です。

音韻論フォーラム 2019 予告

2019 年度も以下の要領で音韻論フォーラムが開催される予定です。

期日：2019 年 8 月 26 日（月）～28 日（水）

会場：上智大学

研究発表の募集など詳細につきましては、4 月末に発行予定の Newsletter で、改めてお知らせいたします。

旅費の補助について

本学会では若手研究者への支援を目的として、非有職者（学生や非常勤講師等）かつ、遠隔地からの発表者を対象に、旅費の補助を行います。春秋研究発表会、音韻論フォーラムいずれの時期も対象で、一人上限国内 2 万円、海外 5 万円です。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。申請を希望される方は発表応募時にお知らせ下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入可能です。また、『20 周年記念論文集』（2016）や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』（1996）についても、特別価格で購入可能です。ともに、ご自身で直接開拓社までお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F

TEL：03-5842-8900

FAX：03-5842-5560

E-mail：kawata@kaitakusha.co.jp

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

メール本文末尾もしくは封筒の宛名下に記載された数字・記号を参考にして、会費を納入願います。記載された数字のうち 7, 8 は、それぞれ 2017, 2018 の各年度の会費が未納であることを意味します。アスタリスクは会費納入済みであることを意味します。また、t は thousand の意味で、[5t] とあれば 5,000 円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*8[5t]」と記載されていれば、2018 年度の会費が未納であり、その総額が 5,000 円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入されましたら、当該年度の『音韻研究』を無料で送付いたします。

記載をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振り込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込：

口座番号：00180-6-402077

他行から：ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキョウ）店 (019) 当座 0402077

加入者名：日本音韻論学会

年会費：

維持会員：10,000 円

一般会員：5,000 円

学生会員：4,000 円

「維持会員」は本会を格別に支援して下さる会員です。年会費 1 万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

会員情報（住所、所属、連絡先）が変更になった場合は、必ず下記の事務局 会計担当までご連絡下さい（学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も必ずご連絡下さい）。連絡されないままにされますと、Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんのでご注意願います。

日本音韻論学会事務局

【事務局長（学会所在地）】

西村 康平（いわき明星大学）

〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野 5-5-1

いわき明星大学 教養学部

TEL：0246-29-7196（直通）

E-mail：kohei.nishimura@iwakimu.ac.jp

【会計担当】

坂本 洋子（獨協医科大学）

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

獨協医科大学医学部 語学・人文教育部門

TEL：0282-87-2481（代表）

E-mail：y-saka@dokkyomed.ac.jp

【事務局補佐】

渡部 直也（東京大学大学院）

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

東京大学大学院総合文化研究科

言語情報科学専攻

TEL：03-5454-6376（代表）

E-mail：n_watabe@phiz.c.u-tokyo.ac.jp